

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
応用講座5①							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	3年	1期	川崎 有子				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
応用分野				座学	1	10	
科目概要							
<p>柔道整復師として患者のあらゆる障害に対して理解を深め総合的に対処していく必要がある。障害の評価、後療法についての知識を身につけ職業倫理を修得し臨床現場で必要とされるリハビリテーションの知識を深めていく。 2年次に修得した知識を定着させ確実に理解をしていく。</p>							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>		リハビリテーションにおける解剖学、運動学の基礎知識を深め、診断・評価(検査・測定)・治療・予後に必要となる基本的知識を修得する。					
<b>到達目標(SBO)</b> <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>		①リハビリテーションの意義と目的について理解し、選択肢から正しいものを選ぶことができるようになる。 ②関節運動や計測について評価・診断ができるように目的と方法を理解し選択肢から正しいものを選ぶことができるようになる。 ③運動療法や物理療法について治療目的と適応を理解し選択肢から正しいものを選ぶことができるようになる。 ④疾患に対する障害の特徴を理解し選択肢から正しいものを選ぶことができるようになる。					
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学・運動学の構造と機能の知識が必要となる。復習をして授業に臨むこと。							
教科書・参考書							
一般臨床医学「全国学校協会監修」							
受講上の注意							
演習問題を多く実施致します。教科書は必ず用意して受講して下さい。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	リハビリテーションの概念と対象 演習確認問題を解くことで理解する。選択肢から正しいものを選ぶことができる。			P1-P30	教科書 筆記用具		
第2回	リハビリテーションの評価(運動学と機能解剖) 演習確認問題を解くことで理解する。選択肢から正しいものを選ぶことができる。			P31-P56	教科書 筆記用具		
第3回	リハビリテーションの評価と診断 演習確認問題を解くことで理解する。選択肢から正しいものを選ぶことができる。			P31-P56	教科書 筆記用具		
第4回	リハビリテーションの障害と治療 演習確認問題を解くことで理解する。選択肢から正しいものを選ぶことができる。			P57-P108	教科書 筆記用具		
第5回	リハビリテーションの障害と治療 演習確認問題を解くことで理解する。選択肢から正しいものを選ぶことができる。			P57-P108 P119-P156	教科書 筆記用具		
第6回	リハビリテーションと関連職種 演習確認問題を解くことで理解する。選択肢から正しいものを選ぶことができる。			P109-P155	教科書 筆記用具		
第7回	高齢者のリハビリテーション 演習確認問題を解くことで理解する。選択肢から正しいものを選ぶことができる。			P157-P176	教科書 筆記用具		
第8回	運動器のリハビリテーション 演習確認問題を解くことで理解する。選択肢から正しいものを選ぶことができる。			P177-P244	教科書 筆記用具		
第9回	運動器のリハビリテーション 演習確認問題を解くことで理解する。選択肢から正しいものを選ぶことができる。			P177-P244	教科書 筆記用具		
第10回	定期試験				筆記用具 学生証		
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
kawasaki@nihonisen.ac.jp							